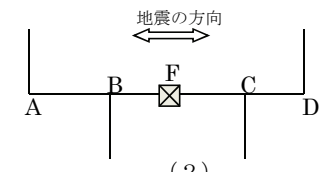




耐震設計指針 レベル1耐震性能評価(配管系)編

正誤表

平成23年5月31日

ページ	項目	行	誤	正
60	2.3.2(1)	上12	2.5を参照のこと。	2.6を参照のこと。
68	2.4	下1	の4倍以下の値	削除
72		(式2.5)	133	1.33
81	2.7.3	上2	B 8281「圧力容器の応力解析及び疲労解析」(1993年)	B 8266「圧力容器の構造—特定規格」(2003年)付属書8「圧力容器の応力解析及び疲労解析」
84	(4)	上4	(表2.8.3)	(表2.6)
91	表2.9	2行3列	ASMECASE	ASME CASE
93		上1	(1)サポートの非耐圧部材の	(3)サポートの非耐圧部材の
93	表16.10	表の4行目	$\dots \leq f_c$	$\dots \leq f_t$
94		上1	(2)サポートの	(4)サポートの
95	3.2	上1	レベルー	レベル1
97	表3.1	2行1列	1-2/2B	1-1/2B
98	表3.2	2行1列	1-2/2B	1-1/2B
98	図3.2	追加		 <p>(2)</p>
99		上1	(図3.2)の例の場合で	(図3.2)の(1)の場合で
		上2行目の後に追加		(2)の場合、Fを地震方向支持点A,Dで曲がり部、B,Cで分岐部とすると、当該支持点から分岐までのすべての点は、支持点と見なすことができる。したがって、A,B,C,Dはすべて支持点として計算してよい。
102		下2	液化ガス配管は第II章(表3.1)、圧縮ガス配管は第II章(表3.2)に示す・	液化ガス配管は(表3.1)、圧縮ガス配管は(表3.2)に示す・
108	3.5.6	上2	高さに応じて節に示した方法・	高さに応じて3.6に示した方法・
121	表1.4	記号の行	X:X方向地震加速度 Y:Y方向地震加速度 Z:Z方向地震加速度 DX:X方向地震相対変位 DZ:Z方向地震相対変位	X:X方向設計水平地震力 Y:Y方向設計鉛直地震力 Z:Z方向設計水平地震力 DX:X方向移動量 DZ:Z方向移動量
146	1.6.8	上1	(表1. 21)	(表1. 23)
166	図6.1		 <p>(a)G1ガイド (b)G2ガイド</p>	 <p>(b)G2ガイド (a)G1ガイド</p>

ページ	項目	行	誤	正
167	6.1.2	上6	H100×100×5/7	H125×125×6.5/9
		上8 上9	Zx=76.5×10 ³ Zy=26.7×10 ³	Zx=134.0×10 ³ Zy=46.9×10 ³
		上14	$\frac{100 \times 10^3 \times 170}{76.5 \times 10^3} = 222$	$\frac{100 \times 10^3 \times 254}{134 \times 10^3} = 190$
		上18	H:鋼材の長さ	H:パイプの外径の1/2
168		上2	$\sigma_b=222\text{N/mm}^2$	$\sigma_b=190\text{N/mm}^2$
181~ 185	図7.1~ 7.5		800/4B (Q:b-R:b間寸法)	6000/4B (Q:b-R:b間寸法)
182	7.1	上7	設計圧力	運転圧力
		上8	温度	運転温度
		上3	X、Y、X方向	X、Y、Z方向
185	図7.4		Z方向地震 配管スパン(分岐) :G~H~K :G~H~N :K~H~N	Z方向地震 配管スパン(分岐) :G~H :K~H
186	7.3.2	上13	③に関しては、1.5節	③に関しては、 7.3.3
		上20	換算係数 ϕd	換算係数 ϕ
187	表7.2	4行3列	803+1.803+0.5 +1.803×2=7.713	1.803+1.803+0.5 +1.803×2=7.712
		7行3列	0.8	6
188	表7.3	4行	分岐:G~H~K 6B 2+0.5+1.803×2=6.107 G~H~N 4B 2 K~H~N 0.5+1.803×2=4.107	分岐:G~H 6B 2 K~H 6B 0.5+1.803×2=4.107
		7行3列	0.8	6
	7.3.3 (1)	上1	1.5節で算出した相当配管長	7.3.2 で算出した相当配管長
	7.3.3 (2)	上2	4B : γw	4B : γw_i
		上3	6B : γw	6B : γw_i
	7.3.3 (3)	上1 下2	(表1.4)及び(表1.5) 配管スパンに係る集中重量率Rw	(表7.4)及び(表7.5) 配管スパンに係る集中重量率 γw
189	表7.4	1行6列	Rw	γw
	表7.5	1行6列	Rw	γw
190	7.3.4 (1)	上2	6B : D=163.2	6B : D=165.2
		上3	6B : D=114.3	4B : D=114.3
191	7.4.2	上2	$\frac{200}{200 \times 10^3}$	$\frac{205}{195 \times 10^3}$
		上3、上5	設計温度	運転温度
		上4	Sy=200N/mm ²	Sy=205N/mm ²
		上6	E=200KN/mm ²	E=195KN/mm ²
	表7.7	表題	(表7.7)許容スパン長及び変位吸収能力の算定	(表7.7)配管スパン投影長及び変位吸収能力の算定
		1行4列 4行5列	配管投影長 0.01745	配管スパン投影長 0.01759
192	表7.8	表題	(表7.8)許容スパン長及び変位吸収能力の算定	(表7.8)配管スパン投影長及び変位吸収能力の算定
		1行4列	配管投影長	配管スパン投影長
		3行5列	0.01652	0.01665